

公益財団法人広島県老人クラブ連合会

平成26年度事業報告書

目 次

○ 平成 26 年度事業報告	
Ⅰ 高齢者の健康づくり・介護予防活動に資する事業	1
Ⅱ 高齢者の社会活動を推進する事業	5
Ⅲ 地域社会と連携・協働活動を推進する事業	8
Ⅳ 生活を豊かにする楽しい活動と地域を豊かにする社会活動を推進し、地域と福祉をささえる老人クラブをめざす事業	12
Ⅴ 老人クラブの組織強化を図る事業	15
Ⅵ 法人の管理運営	16

公益財団法人広島県老人クラブ連合会事業報告

平成 26 年度(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

概 況

- 平成 25 年度に、広島県老人クラブ連合会は創立 50 周年を迎え、公益財団法人としての志を新たに、「のぼそう！健康寿命 担おう！地域づくりを」をメインテーマに、次の 50 年に向けた一歩を踏み出した。
- 平成 26 年度の単位クラブ数は 2,106 クラブ、会員数は 114,971 人であり、前年度に比べ、クラブ数で 55 クラブ、会員数で 6,573 人の減少となった。依然としてクラブ数、会員数ともに減少傾向が続いており、新規会員の加入促進、単位クラブの解散防止が喫緊の課題となっている。
- 事業運営については、事業計画に基づき、健康づくり・介護予防事業、地域支えあい事業、社会活動指導者の育成事業、広報活動事業等に着実に取り組んだほか、「健康・友愛・奉仕を掲げる全国三大運動」並びに「老人の日・老人週間」の一環として、友愛活動や社会奉仕活動などを展開している。
- 平成 26 年度から、全老連の提唱する「老人クラブ 100 万人会員増強運動」に呼応して、広島県として、平成 30 年度までの 5 年間に 18,699 人会員増加を図るとする県としての目標を掲げて、市町老人クラブ連合会にも各自の目標設定を呼びかけ、全県的に計画的な取り組みを進めている。

事業報告

《公益目的事業》

I 高齢者の健康づくり・介護予防活動に資する事業(公1)

全国三大運動における健康づくりの重点課題として、ねたきりや認知症の大きな要因となる閉じこもり・孤立を防ぐ介護予防活動について、地域で暮らす全ての高齢者へ運動の輪を広げるため、単位クラブ、市町老連、県老連が連携して取り組みを進めた。

1 老人クラブリーダーブロック研修会の開催

市・町・地区老連指導者、女性リーダー、若手リーダーを対象に、健康づくり・介護予防の輪を広げ、健康で生きがいのある生活の実現をめざした活動の展開を図ることを目的として、4 ブロックでこの研修会を開催し、参加者総数は 411 人となった。

平成 26 年度テーマ：「のぼそう！健康寿命 担おう！地域づくりを」

○日程(例)

12:30	13:10	13:40	14:00	15:00		
受付	開会	事例発表	研究協議	講演	質疑	閉会

※各ブロックの開催老連の事情により適宜変更あり

○広島ブロック

開催老連	北広島町
開催日	平成26年11月21日(金)
会場	広島北部農協千代田支店(山県郡北広島町有田 532-1)
参加者数	78人
内容	健康づくり:北広島町スキットと体操 講師 北広島町保健師, 豊平ウイング指導員, お元気サポーター様 講演:「助けられ上手になろう」 講師 広島文教女子大学教授 菅井 直也様

○三原ブロック

開催老連	尾道市
開催日	平成26年8月7日(木)
会場	尾道市総合福祉センター (尾道市門田町 22-5)
参加者数	120人
内容	事例発表1:東広島市老連豊栄支部 能良福寿会 女性部長 清水 恵津子様 事例発表2:竹原市老連吉名町老連 弥栄クラブ 会長 長木 義美 様 講演:落語いきいきトーク「自分らしく生きるために」 講師 七色亭 紫陽花 様, 狩山 満香 様

○福山ブロック

開催老連	福山市
開催日	平成26年11月10日(月)
会場	福山労働会館「みやび」(福山市南蔵王町 4丁目 5-18)
参加者数	105人
内容	事例発表:「明るく楽しく前向きに」 福山市老連藤江学区一番組老人クラブ平和会 会長 壇上 博一様 研究協議:「老人クラブの活性化と組織強化について」 座長 福山市老連 小川 好人様 講演:「これからの医療と介護についてー高齢者に求められるものー」 講師 福山市保健所長 田中 知徳 様

○三次ブロック

開催老連	庄原市
開催日	平成26年11月11日(火)
会場	庄原市ふれあいセンター
参加者数	108人
内容	事例発表1:「絆を深める…健康長寿をめざして…」 安芸高田市老連 錦水クラブ 会長 佐藤 正彦様 事例発表2:「シニア小国劇団と共に歩む」 世羅町老連女性委員 岡田 桂子様 講演:「地域でねばる」 講師 (社福)優輝福社会 理事長 熊原 保様

2 第9回広島県老人クラブブロック別グラウンド・ゴルフ大会の開催

地域に健康づくりとシニア・スポーツを普及し、ふれあいと活力ある明るい長寿社会づくりの推進を目的として、県内4ブロック会場でこの大会を開催した。各市町から選抜された128チーム、810人が参加し、相互に親睦と交流を図りながら、健康づくりを推進することができた。

日程 9:00 9:30 10:00 15:30 16:00

受付	開 会 式	ゲ ー ム	表 彰 式	閉 会 式	解 散
----	-------------	-------------	-------------	-------------	--------

開催地区	広島ブロック	三原ブロック	福山ブロック	三次ブロック	
開催老連	安芸郡(熊野町)	竹原市	神石高原町	三次市	
開催日時	11月5日(水)	10月16日(木)	10月28日(火)	10月8日(水)	
場 所	熊野町民グラウンド	バンブー・ジョイ・ハ イランド多目的広場	神石高原町 三和野球場	三次市親水公園	
参加人員	28チーム 168人	36チーム 216人	30チーム 222人	34チーム 204人	
大会 内容 等	優勝	友愛クラブA (廿日市市)	瀬戸田 (尾道市)	白鳥老人クラブ (福山市)	敷信A (庄原市)
	準優勝	呉焼山政敵GGC (呉市)	久保A (尾道市)	津之郷A (福山市)	甲山A (世羅町)
	第3位	安浦友愛GGC (呉市)	宗郷西成熟会 (三原市)	金江町老連A (福山市)	三良坂 (三次市)
	その他	ホールインワン賞 69人	ホールインワン賞 105人	ホールインワン賞 76人	ホールインワン賞 72人

3 広島県老人クラブゲートボール大会

(1) 第33回広島県老人クラブゲートボール大会の開催

ふれあいと活力ある明るい長寿社会づくりを推進するため、各市町から選抜された27チーム、240人が参加した。親睦と交流を図りながら、健康づくりを推進することができた。

日程

8:30	9:00	9:30	15:10	15:30	
受付	開 会 式	ゲ ー ム	表 彰 式	閉 会 式	解 散

期 日 平成26年11月6日(木) 9:00～15:30

会 場 広島市比治山下公園(広島市南区比治山本町8-1)

参加人員 27チーム及び役員等240人

成 績 優勝 坂小屋浦(坂町) 第3位 安芸高田(安芸高田市)
準優勝 片島ひまわり(三原市) 第4位 春日(福山市)

(2) 全国健康福祉祭ねんりんピックへの参加支援

平成25年度「第32回広島県老人クラブゲートボール大会」の優勝・準優勝2チームが、第27回全国健康福祉祭とちぎ大会(ゲートボール交流大会)に参加し、その経費について支援した。

参加チーム 「甲奴」(三次市), 「小坂白寿会」(三原市)

4 健康づくり活動の推進

(1) 「高齢者体力測定」の普及

高齢期における健康で生きがいのある生活をめざし、「高齢者の体力測定」の普及啓発を図った。

(2) 「いきいきクラブ体操」の普及

「高齢者の誰もが楽しく参加できる」を合言葉に、健康寿命を延ばす「いきいきクラブ体操」の習慣化を呼びかけた。

(3) 「健康づくり中央セミナー」への参加

平成27年3月2日～3月4日、神奈川県で開催された第12期「健康づくり中央セミナー」に1名が参加した。

II 高齢者の社会活動を推進する事業(公2)

心豊かな地域社会づくりに向けて、老人クラブ等高齢者の社会活動指導者に対する講習会を通じて、高齢者の相互支援や社会奉仕等の社会活動の推進を図った。

1 地域指導者講習会の開催

老人クラブ役員等高齢者の社会活動指導者に対して、地域の実情に応じた研修テーマ等により、市町老連との共催により、15市・郡別会場において講習会を開催し、講習会資料(テキスト)を作成配布するとともに、経費の一部を負担した。参加者総数は、21会場で1,950人となった。

○日程(例)

9:00	10:00	10:10	11:00	12:00	13:00	15:00
受付	開会	講義	事例発表	休憩 昼食	研究討議 まとめ	閉会

※日程は地域の実状により適宜変更

2 在宅福祉を支える友愛活動の展開

(1) 高齢者相互支援推進事業

三原市, 府中市, 庄原市, 廿日市市の4老連をモデル市町老連として、老人クラブ会員が地域の一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者、高齢者世帯等の家庭を訪問し、話し相手を基本に日常生活支援や家事援助等の活動を実践した。

また、高齢者相互支援推進シルバーリーダー研修会を開催し、地域の高齢者に対し、高齢者相互支援についての啓発普及を行なった。

高齢者相互支援推進シルバーリーダー研修会の参加者は延べ237人、モデル市町老連における相互支援延べ訪問回数は13,682回となった。

ア 高齢者相互支援推進会議

区分	第1回	第2回
開催月日	平成26年6月5日	平成27年3月20日
開催場所	県社会福祉会館	県社会福祉会館
出席者	4人	4人
内容	平成26年度高齢者相互支援事業について	平成26年度高齢者相互支援事業の実施結果について

イ 高齢者相互支援推進シルバーリーダー研修会

10:20	11:10	12:30	13:30	13:50	14:50	15:00		
受付	開会	事業説明 ビデオ鑑賞	講義	昼食 休憩	いきいき クラブ体操	地域活動推進 方法・研究討議	まとめ	閉会

○研修会の開催状況

老連名	開催月日	開催場所	参加人員
三原市	26.9.16	サン・シープラザ	35
府中市	8.3	府中市保健福祉総合センター	100
庄原市	8.22	庄原市総合体育館	37
廿日市市	27.1.20	廿日市市市民活動センター	65

○友愛訪問の実施状況

モデル市町老連		三原市	府中市	庄原市	廿日市市	計
実施した会員数(人)		199	367	68	178	812
延訪問者数(人)		1,537	8,419	624	2,015	12,595
活動 内容 (回)	話し相手	946	3,338	440	1,365	6,089
	家事援助	21	13	39	30	103
	日常生活援助	98	40	12	21	171
	外出援助	81	529	59	92	761
	安否確認	341	3,000	97	717	4,155
	その他	69	883	32	383	1,367
	延訪問回数	1,556	8,839	679	2,608	13,682

ウ 第20回在宅福祉を支える友愛活動」セミナーへの参加

広島県老連からの参加者： 三原市老連 1名 庄原市老連 1名 計2名

開催日： 平成27年1月14日～15日

場 所： 全国社会福祉協議会(東京都)

実施内容：

- ・行政報告 「介護保険法の改正について～地域支え合いの取り組みについて～」
厚生労働省老健局振興課
- ・基調報告 「在宅福祉を支える友愛活動」の推進 全老連事務局
- ・情報交換
- ・講 演 「高齢者の暮らしを支える宍粟市社協の取り組み」 兵庫県宍粟市社協
- ・活動報告 ①「シルバーヘルパー活動の取り組み(熊本県合志市老連)」
②「お助けマン活動の取り組み(愛知県阿久比町老連宮津山田第4達者会)」

(2) 友愛活動の推進

平成25年度の高齢者相互支援推進事業におけるモデル市町老連の取り組み等を「平成25年度高齢者相互支援推進事業事例集」として取りまとめ、各市町老連へ配布することなどにより、老人クラブ会員による「在宅福祉を支える友愛活動～暮らしを支える 笑顔の訪問～」の推進を呼びかけた。

- ・集いの場をつくろう！・暮らしの支え合いを広げよう！・役立つ情報を届けよう！

3 地域奉仕活動推進事業

老人クラブではこれまで、高齢者自らが健康保持・増進をすすめ、高齢社会・地域社会を支える担い手として、自主的・組織的に、健康・友愛・奉仕の全国三大運動等の推進に取り組んでおり、平成26年度も継続して推進した。

(1) 健康づくり活動

～のばそう！健康寿命 担おう！地域づくりを～(再掲)

(2) 在宅福祉を支える友愛活動

～暮らしを支える 笑顔の訪問～(再掲)

(3) 全国一斉「社会奉仕の日」の推進 ～きれいな地球を子どもたちへ～

老人週間を契機に設定された全国一斉「社会奉仕の日」(9月20日)に、各地域の老人クラブにおいて、公共施設、道路、公園、河川、海浜、神社、仏閣の除草や清掃、資源回収、花壇の管理、山林歩道の整備など様々な奉仕活動が行われた。

11市町老連から活動状況について報告があり、参加者総数は874クラブ、25,197人となった。

4 広島土砂災害に対する義援金の取り組み

平成26年8月豪雨による広島市北部を中心とした土砂災害では多くの高齢者が被災したことから、8月25日から10月31日の期間で県内の市町老連に義援金の募金を呼びかけた。

呼びかけに応じて、17市町老連と2単老から寄せられた総額7,622,064円の義援金を、12月3日に広島市老人クラブ連合会事務局において、県老連理事長から広島市老連会長へ贈呈した。

Ⅲ 地域社会と連携・協働活動を推進する事業(公3)

高齢者の社会参加を促進するため広報活動等を通じ、また関係機関・地域社会と連携して協働活動を推進した。

1 広島県老人クラブ大会の開催

老人クラブ活動に対する意識の高揚と、関係者の多年にわたる功績を称えるとともに、老人クラブのさらなる発展と高齢者福祉の向上を期するため、この大会を次のとおり開催した。

(1) 開催日等

- ・期 日 平成26年10月30日(木) 13時30分～15時30分
- ・会 場 広島県社会福祉会館(広島市南区比治山本町12番2号)
- ・参加人員 約200人

(2) 表彰区分及び表彰者数

- ・功労賞(地区老人クラブ連合会長の部) 3人
- ・功労賞(単位老人クラブ会長の部) 55人
- ・特別賞 7人
- ・感謝状 2人

(3) 講演 「これで安心 広島の在宅医療」

講師 医療法人裕心会落久保外科循環器科内科クリニック 落久保 裕之先生

(4) 大会宣言

宣 言

本年8月20日広島市北部を中心に発生した大規模な土砂災害では、私達の仲間である高齢者をはじめ多くの尊い生命と財産を奪い、その平穏な暮らしを一変させました。被災された皆様には、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

災害の発生から2か月あまり、被災地における地域住民の方々やボランティアの皆様のご多様な活動に接する中で、私たちは改めて人と人の絆、地域・近隣の大切さに気付かされました。

また、私たちが半世紀にわたって取り組んできた、老人クラブのネットワークを活かして、仲間同士の見守りや生活支え合いを進める友愛活動に一層の自信を深めました。

昨年、創立50年を経過した広島県老人クラブ連合会では今日まで、高齢者の仲間づくりと健康づくりを基本に、環境美化、世代間交流、ボランティアなど、幅広く社会に貢献する活動に取り組んでまいりました。

そして今、次の50年に向け、「のぼそう！健康寿命 担おう！地域づくりを」をメインテーマに掲げて、全国の仲間と共に「老人クラブ会員100万人増強運動」、「健康・友愛・奉仕の全国三大運動」を推進していこうとしています。

ここに集う広島県の老人クラブ代表者は、ともに手を携え、地域における人口の減少と75歳以上の高齢者の急激な増加が予測される社会の中で、地域に根差した唯一の高齢

者組織として老人クラブ本来の役割をしっかりと果たしていく決意を新たにし、次の事項の実践を誓い宣言します。

- 一、老人クラブの原点に立った「仲間づくり活動」の強化
- 一、健康長寿をめざす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、日常生活を支援する「地域支え合い活動(友愛)」の推進
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

平成26年10月30日

平成26年度広島県老人クラブ大会

2 広報誌「ひろしま県老連」の発行

老人クラブ活動や高齢者福祉の増進についての広報啓発活動を行うため、広報誌「ひろしま県老連」を発行し、老人クラブ会員全員に配布するとともに、市町老人クラブ連合会・全国老人クラブ連合会、県市町等の関係機関、希望のあった一般高齢者に配布した。

発行時期 平成26年3月及び9月

発行部数 12万部

3 関係機関・関係団体との連携・協働事業の推進

全ての市町にネットワークを有する県内唯一の高齢者組織として、県関係局及び関係団体が実施する福祉、保健、健康、医療、交通安全、社会参加など高齢者に関わる事業と連携・協働を図った。

(1) 高齢者の交通安全対策の推進

広島県交通対策協議会の構成団体として、高齢者の交通事故防止対策を重点的に推進するため、交通安全の啓発広報活動に取り組んだ。

- ・春の全国交通安全運動 実施期間：4月6日～4月15日
- ・広島県夏の交通安全運動 実施期間：7月11日～7月20日
- ・秋の全国交通安全運動 実施期間：9月21日～9月30日
- ・年末交通事故防止県民総ぐるみ運動 実施期間：12月11日～12月20日

○広島県交通対策協議会会議等の開催状況

月日	会議名	場所
26.4.4	春の全国交通安全運動開始式	県庁正面
5.9	自転車安全利用街頭キャンペーン	フジグラン緑井
5.23	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁
6.26	広島県交通安全協会理事会・評議員会	メルパルク広島
7.11	広島県夏の交通安全運動開始式	県庁正面
7.25	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁
9.10	平成26年広島県交通安全県民大会	アステールプラザ

月日	会議名	場所
9.19	秋の全国交通安全運動開始式	県庁
10.20	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁
11.8	第11回高齢者交通安全自転車大会	産業会館
12.11	年末交通事故防止県民総ぐるみ運動開始式	県庁正面
1.22	交通死亡事故抑止対策会議	県庁
2.16	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁
3.5	広島県自転車安全教育推進委員会	運転免許センター

(3) 高齢者に関わる制度・政策への対応

公益財団法人として、また高齢者代表としての立場から、県関係局及び関係団体が主宰する福祉、保健、健康、医療、交通安全、社会参画に係る審議会、協議会等に参画など、高齢者に関わる事業と連携・協働活動に取り組んだ。

○高齢者に関わる制度・政策への対応

団体名	名称	区分
中国地方整備局	広島県バリアフリー等連絡会議	構成員
広島県健康福祉局	広島県後期高齢者医療審査会	委員
	広島県介護保険審査会	委員
	広島県自殺対策連絡協議会	委員
	広島県社会福祉審議会	委員
	高齢者対策総合推進会議	委員
	広島県プラチナ世代支援協議会	委員
	ひろしま健康づくり県民運動推進会議	構成員
	広島県医療費適正化計画検討委員会	委員
広島県環境県民局	広島県福祉のまちづくり推進協議会	構成員
	広島県交通対策協議会	委員
	広島県交通対策協議会幹事会	幹事
広島県警察本部生活安全部	北方領土返還要求運動広島県民会議	構成員
	広島県暴走族対策会議	委員
	広島県暴走族対策会議幹事会	幹事
	広島県「減らそう犯罪」推進会議	委員
広島県後期高齢者医療広域連合	広島県「減らそう犯罪」推進会議幹事会	構成員
	広島県後期高齢者医療広域連合運営審議会	委員
	財団法人広島県地域保健医療推進機構理事会	理事
(財)広島県地域保健医療推進機構	財団法人広島県地域保健医療推進機構評議員会	評議員
	明るい長寿社会づくり推進委員会	委員
(社福)広島県社会福祉協議会	広島県被災者生活サポートボラネット推進会議	委員
	社会福祉法に基づく運営適正化委員会の選考委員会	委員

団体名	名称	区分
広島県選挙管理委員会	広島県明るい選挙推進協議会	構成員
(一財)広島県交通安全協会	(一財)広島県交通安全協会理事会	理事
	広島県自転車安全教育推進委員会	委員
その他	21世紀、県民の健康とくらしを考える会	構成員

○会議等への参加・出席状況

月日	会議名等	場所
26.5.22	広島県明るい選挙推進協議会総会	広経大立町
5.24	広島県シニア総合スポーツ大会総合開会式	備後運動公園
6.16	広島県高齢者対策総合推進会議	県庁
6.30	第1回広島県被災者生活サポートボラネット推進会議	県健康福祉C
7.4	広島県バリアフリー等地域連絡協議会	広島県合同庁舎
7.18	広島県社会福祉協議会理事会	県社会福祉会館
7.23	第3回広島県介護労働懇談会	YMCA
7.28	北方領土返還要求運動広島県民会議総会	鯉城会館
8.19	広島県社会福祉協議会社会福祉制度・予算対策委員会	県社会福祉会館
8.20	21世紀、県民と健康のくらしを考える会(役員会)	広島県医師会
8.20	広島県社会福祉審議会	県庁
10.23	第15回シルバーピックふくやま	福山市体育館
10.29	21世紀、県民と健康のくらしを考える会(役員会)	広島県医師会
11.12	平成26年度広島県ふくしのまちづくりのつどい	県社会福祉会館
11.7	広島県「減らそう犯罪」推進会議幹事会	県庁
11.17	広島県「減らそう犯罪」推進会議	県庁
11.28	広島県暴走族・少年非行対策会議幹事会	県庁
11.28	広島県暴走族・少年非行対策会議	県庁
12.17	広島県高齢者対策総合推進会議	県庁
12.18	第2回広島県被災者生活サポートボラネット推進会議	県社会福祉会館
27.1.8	広島県福祉サービス運営適正化委員会「選考委員会」	県社会福祉会館
1.31	21世紀県民の健康とくらしを考える県民フォーラム	広島市青少年C
2.2	北方領土返還要求運動広島県民大会	県民文化C
2.8	平成26年度圏域地対協研修会	リーガロイヤルH広島
3.5	広島県自転車安全教育推進委員会	運転免許C
3.5	第4回広島県介護労働懇談会	グリーンアリーナ
3.16	広島県高齢者対策総合推進会議	県庁
3.24	ひろしま健康づくり県民運動推進会議総会	県健康福祉C
3.25	広島県社会福祉協議会理事会	県社会福祉会館
3.27	広島県医療費適正化計画検討委員会	国保会館
3.30	広島県自殺対策連絡協議会	県庁

IV 生活を豊かにする楽しい活動と地域を豊かにする社会活動を推進し、地域と福祉をささえる老人クラブをめざす事業(公4)

1 三者連絡協議会(意見交換会)

県主管課、県社会福祉協議会との連絡協議会において、定期的な連携を通じて、老人クラブ活動に対する理解と支援を要請するとともに意見交換を行った。

年月日	開催場所	人数	内 容
26・4.24	広島県社会福祉会館	7	1 平成 26 年度事業について 2 平成 25 年度決算について 3 県老連の課題について 4 その他

2 協働活動の推進

老人クラブが地域でパワーを発揮するためには、単位クラブ及び市町老連並びに県老連が組織全体で協働活動を推進していく必要がある。このため「市町老連会長会議」及び「市町老連事務局長会議」を開催した。

年月日	会議の名称	人数	内容
26.6.5	市町老連事務局長会議	21	1 平成 26 年度事業計画及び予算について 2 全老連表彰事業について 3 100 万人会員増強運動について 4 その他
12.12	市町老連会長会議	24	1 100 万人会員増強運動について 2 女性委員会・若手委員会の活性化について 3 ブロックの再編成について 4 役員及び評議員等の選出について 5 平成 27 年度事業及び予算について 6 その他
27.2.26	市町老連事務局長会議	21	1 平成 27 年度県老連事業計画(案)について 2 平成 27 年度県老連事業予算(案)について 3 ブロック開催事業の調整について 4 規約改正について 5 その他

(開催場所:広島県社会福祉会館)

3 県老連各種委員会の開催

女性委員会, 若手委員会, 活動指導研修委員会等を次のとおり開催した。

年月日	委員会等の名称	人数	内 容
26.6.3	女性委員会総会	20	1 平成 26 年度県老連事業計画について 2 役員改選について 3 研修・協議
5.23	若手委員会	25	1 平成 26 年度県老連事業計画について 2 100 万人会員増強運動について 3 これからの若手委員会活動について 4 情報交換
27.3.4～ 3.5	若手委員研修会	25	白竜湖リゾートにおいて, テーマ別グループワークによる宿泊研修を実施。 テーマ ①なぜ女性会長が少ないのか ②なぜ会長のなり手が少ないのか ③なぜ会員が減少しているのか
6.10	活動指導研修委員会	5	1 地域指導者講習会開催要綱について 2 全老連事業計画について 3 県老連事業計画について 4 地域指導者講習会テキストについて
6.24	広報誌編集委員会	8	広報誌「ひろしま県老連第 87 号」の編集について
8.29	広報誌編集委員会	8	広報誌「ひろしま県老連第 87 号」の掲載記事, 投稿作品について
12.9	広報誌編集委員会	8	広報誌「ひろしま県老連第 88 号」の編集について
27.2.27	広報誌編集委員会	8	広報誌「ひろしま県老連第 88 号」の掲載記事, 投稿作品について

(開催場所:若手委員研修会を除き広島県社会福祉会館)

4 全老連が主催する会議・研修会等への参加

老人クラブ活動の充実強化を図るため, 全老連主催の会議・研修・セミナー等に積極的に参加した。

開催日	会議名・研修名	場所
4.15	全老連新任事務局長研修会	東京都
5.22～23	中国ブロック県・指定都市老連連絡協議会	呉市
5.30	全老連理事会	東京都
6.30～7.1	第 1 回都道府県・指定都市老連事務局長会議	東京都

開催日	会議名・研修名	場所
7.1	全老連政策委員会幹事会	東京都
7.3～4	中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会	愛媛県
8.1	都道府県・指定都市老連活動推進員・担当者セミナー	東京都
10.21～22	第26回老人クラブ女性リーダーセミナー	東京都
10.24	第41回全老連政策委員会	東京都
11.13～14	第43回全国老人クラブ大会	大分県
12.1～2	都道府県・指定都市老人クラブ連合会会長会議	東京都
1.14～15	第20回在宅福祉を支える友愛セミナー	東京都
2.10	第2回都道府県・指定都市老連事務局長会議	東京都
3.2～4	第12期健康づくり中央セミナー	神奈川県
3.18	全老連理事会・評議員会	東京都

5 全老連会長表彰の受賞

全国老人クラブ連合会では、都道府県・指定都市老連からの推薦に基づき、多年にわたる老人クラブの育成功労者、顕著な活動実績を上げている優良老人クラブ及び優良老人クラブ連合会等の表彰を実施している。広島県から平成26年度は次の個人・団体が受賞した。

- ・育成功労者：吉岡敬時(福山市老連会長)
- ・優良老人クラブ：羽倉親栄会(三原市)，上竹田楽々会(福山市)
- ・優良老人クラブ連合会：庄原市老人クラブ連合会

6 全老連「活動賞」の受賞

全国老人クラブ連合会では、都道府県・指定都市老連からの推薦に基づき、優良事例を掘り起こすとともに活動の意欲を高め、老人クラブ活動の一層の発展を目指し、20年度から新たに老人クラブの活動分野別に「活動賞」表彰を実施している。広島県から平成26年度は次の団体が受賞した。

- ・仲間づくり活動部門：目崎町老人クラブ連合会(府中市)，一木長寿会(庄原市)
- ・健康づくり活動部門：吉浦老人会(尾道市)
- ・ボランティア活動部門：瀬戸田百働会(尾道市)，大柿町老人クラブ連合会(江田島市)

7 関係団体研修等への派遣

広島県高齢者健康福祉大学校(愛称:プラチナ大学)に老人クラブの地域リーダー育成の一環として、9人(廿日市市老連8人，府中町老連1人)の受講を推薦し、受講料の2分の1を助成した。

8 ホームページ活用による啓発広報

ホームページを活用して、老人クラブの活動状況や県や市町老連広報紙さらには関係団体の啓発資料等を掲載するとともに、公益財団法人として必要な法人関係情報について開示するなど、積極的な情報発信に努めた。

《その他の事業》

V 老人クラブの組織強化を図る事業(他1)

1 老人クラブ普及事業

(1) 老人クラブ「100万人会員増強運動」事業

平成26年度から全老連は平成30年度を目標に5か年間で100万人会員増強の運動を開始した。これに呼応して、本県においても、5年間で18,699人、平成26年度では3,739人の増強を図る計画を策定し、市町老連にも県計画を基に、それぞれの目標設定を呼びかけた。

その結果、10市4町老連において、5年間で9,747人、平成26年度では1,796人の増強を図る計画が策定された。また、計画未策定の市町老連においても、県老連設定の目標に基づいて会員増強運動に取り組まれており、全県的な取り組み結果については、平成27年度初頭に取りまとめて全老連へ報告する予定である。

(2) 老人クラブ数等の状況

老人クラブ数は前年比で55クラブ、会員数6,573人減少した。

依然として減少傾向が続いており、老人クラブの解散防止が喫緊の課題となっている。

年度	クラブ数	会員数(人)	加入率(%)
19	2,519	149,429	27.7
20	2,467	146,249	26.3
21	2,415	142,289	25.0
22	2,347	136,247	23.4
23	2,267	131,325	22.1
24	2,214	126,043	21.0
25	2,161	121,544	20.0
26	2,106	114,971	18.8

(注)加入率:老人クラブ会員数/60歳以上の人口

(3) 活動資料, 研修教材の普及事業

老人クラブ活動を効果的に推進するため、月刊「全老連」、「老人クラブリーダー必携」、「老人クラブ活動日誌」、「老人クラブ会計簿」、「老人クラブ手帳」等の普及を図った。

2 会員の安全対策と連帯意識の高揚を図る事業

(1) 「老人クラブ傷害保険」の組織的普及

活動中や会員の日常生活の事故に備えた「老人クラブ傷害保険」の組織的な普及と安全対策を図った。また、創設された「老人クラブ賠償責任保険」について加入案内を行った。なお、平成26年度の加入者数は266クラブで5,938人となった。

(2) 全国の会員をつなぐ仲間のシンボル「老人クラブ会員章」の普及

会員の連帯意識を高め、仲間のしるしである会員章の普及を通じて活動強化を図った。

3 表彰事業

多年にわたり老人クラブの育成指導に貢献し、老人福祉の増進に寄与した人に対して、広島県老人クラブ大会の場において、理事長表彰等を行った。(再掲)

- ・県老連理事長表彰, 感謝状の贈呈

《法人の管理運営》

VI 法人の管理運営(法人会計)

1 役員会等の開催

会務の適切な運営と推進を図るため、次のとおり役員会等を開催した。

月日	会議名	人数	主な内容
26.5.8	監事会	3	平成 25 年度事業実施状況並びに収支決算について
5.13	第 1 回運営委員会	10	1 平成 25 年度連事業実施状況について 2 平成 25 年度収支決算について 3 第 9 回通常理事会提出議題について 4 定時評議員会提出議題について
5.27	第 9 回通常理事会	13	1 平成 25 年度事業実施状況について 2 平成 25 年度収支決算について 3 理事及び評議員の補充選任について 4 定時評議員会における議題等について 5 全老連会長表彰について 6 その他
6.13	平成 26 年度定時評議員会	19	1 平成 25 年度事業実施状況について 2 平成 25 年度収支決算について 3 理事及び評議員の補充選任について
27.2.19	第 2 回運営委員会	8	1 平成 26 年度収支予算執行見込みについて 2 平成 27 年度事業計画及び収支予算について 3 平成 27 年度行事計画について 4 第 10 回理事会及び第 2 回評議員会合同会議に提出する議案について
3.13	第 10 回通常理事会	12	1 理事の補充選任について 2 副理事長の選任について 3 平成 26 年度第 2 回評議員会の開催について 4 平成 27 年度事業計画について 5 平成 27 年度収支予算について 6 活動振興基金運用管理規程の制定等について 7 役員及び評議員推薦規程の改正について 8 運営委員会規程等の改正について

月日	会 議 名	人数	主 な 内 容
3.13	平成 26 年度第 2 回評議員会	20	1 理事の補充選任について 2 平成 27 年度事業計画について 3 平成 27 年度収支予算について 4 活動振興基金運用管理規程の制定等について 5 役員及び評議員推薦規程の改正について 6 運営委員会規程等の改正について

(開催場所:広島県社会福祉会館。ただし、第 10 回理事会及び平成 26 年度第 2 回評議員会は合同会議としてメルパルク広島で開催)

2 老人クラブ等活動推進員の設置

「老人クラブ等活動推進員設置事業運営要綱」に基づき、県老連事務局職員 2 名を「老人クラブ等活動推進員」として任用し、高齢者の社会参加に係る企画立案、調査研究、市町村老人クラブの育成等の事業を実施した。

3 要望活動

県の厳しい財政状況が予想されるなかで、総合的な予算確保・社会福祉制度の要求をしていく必要がある。このため、社会福祉関係 19 団体において、平成 27 年度の予算編成に向けた重点要望を取りまとめ、県健康福祉局長及び関係部課長に要望した。(要望日:9 月 2 日)

4 資料作成配布

月 日	名 称	部数	備 考
4.21	平成 26 年度事業計画並びに収支予算書	350	A4,33 頁
7.23	平成 25 年度事業報告並びに収支決算書	250	A4,49 頁
7.23	平成 26 年度高齢者相互支援推進シルバーリーダー研修会資料	300	A4,20 頁
4.18	平成 25 年度高齢者相互支援事業事例集	800	A4,26 頁
7.1	平成 26 年度地域指導者講習会資料	3,500	A4,34 頁
11.6	第 33 回広島県老人クラブゲートボール大会資料	300	A4,19 頁
10.30	平成 26 年度広島県老人クラブ大会	200	A4,8 頁
11.7	広島県老連創立 50 周年記念史「半世紀の記録」	500	A4,120 頁